

## 第9期群馬県高齢者保健福祉計画の各目標値・指標の進捗状況

No.	基本施策	項目	実績値 (ベースライン値) 【令和5年度末】	目標値 (令和8年度末)	令和6年度数値	現状評価	目標値達成に向けた現状認識・今後の取組
1	1 地域共生社会の実現 (地域包括ケアシステムの深化・推進)	退院支援を実施(入退院支援加算を算定)している病院・診療所数	62~69か所 【※令和3年】	78か所	67~76か所	前進	病院等における退院支援については、概ね定着しているものと考えている。
2		退院調整ルールに係る退院調整漏れ率	12.3%	10%未満	12.4%	現状維持	退院調整ルールについては中核市及び保健福祉事務所単位の各地域で策定されている。R6年度の退院調整漏れ率については、前年度比横ばいの傾向にあった。目標の達成に向け、市町村における在宅医療・介護連携推進事業の円滑な実施を支援していきたい。
3		訪問診療を実施している病院・診療所数	486か所以上 【※令和4年】	519か所	475~502か所	前進	訪問診療を実施している病院・医療機関数は、令和5年度末実績値に比べて前進している。引き続き、在宅療養支援診療所等の新規開設等に伴う設備整備や、在宅医療に関する人材育成への支援を継続していきたい。
4		訪問診療を実施している病院・診療所1か所当たりの患者数(1か月当たりレセプト数)	28.7~30.0人 【※令和3年】	31.4人	32.6~34.4人	達成	訪問診療を実施している病院・診療所1か所当たりの患者数については、すでに令和8年度末の目標値を目標を達成している。
5		訪問歯科診療(居宅又は施設)を実施している診療所数	266~281か所 【※令和3年】	318か所	271~285か所	前進	訪問歯科診療を実施している診療所数は、令和5年度末実績値に比べて増加傾向にある。引き続き、在宅歯科医療室連携整備事業により、在宅歯科医療の推進や他分野との連携体制構築を図っていきたい。
6		訪問口腔衛生指導を実施している病院・診療所数	66か所以上 【※令和4年】	84か所	58~69か所	前進	訪問口腔衛生指導を実施している病院・診療所数は、令和5年度末実績値に比べて増加傾向である。引き続き、在宅歯科医療室連携整備事業により、在宅歯科医療の推進や他分野との連携体制構築を図っていきたい。
7		訪問看護事業所数	243か所	251か所	265か所	達成	訪問看護事業所の数は増加傾向にあり、すでに令和5年度の目標値を達成している。
8		地域連携薬局数	47か所 【※令和3年】	141か所	61か所	前進	地域連携薬局は令和5年度末実績値と比べると増加傾向にあり、令和8年度の目標値と比べると達成率は44.3%となっている。
9		在宅療養支援診療所数	264か所	274か所	257か所	後退	令和5年度末実績値を下回っていることから「後退」と評価した。 在宅療養支援診療所等の新規開設等に伴う設備整備や、在宅医療に関する人材育成への支援を継続していきたい。

No.	基本施策	項目	実績値 (ベースライン値) 【令和5年度末】	目標値 (令和8年度 末)	令和6年度数値	現状評価	目標値達成に向けた現状認識・今後の取組
10	2 自立支援、介護予防・重度化防止の推進	往診を実施している病院・診療所数	610か所以上 【※令和4年】	602か所	583～596か所	後退	令和5年度末実績値を下回っていることから「後退」と評価した。 在宅療養支援診療所等の新規開設等に伴う設備整備や、在宅医療に関する人材育成への支援を継続していきたい。
11		24時間体制をとっている訪問看護ステーション数	228か所 【※令和4年】	231か所	249か所	達成	24時間体制をとっている訪問看護ステーション数は順調に増加しており、すでに令和8年度の目標値を達成している。
12		在宅看取りを実施(ターミナルケア加算等を算定)している病院・診療所数	237～259か所 【※令和3年】	293か所	245～264か所	前進	在宅看取りを実施している病院・診療所数は令和5年度末実績値に比べ増加傾向にある。 在宅や介護施設での看取りに対応できる人材育成のため、引き続き医療・介護関係者向けの研修に取り組んでいきたい。
13		シニア傾聴ボランティア育成支援事業の受講者数	42人 【※令和5年度】	100人	45人	前進	群馬県長寿社会づくり財団を支援し養成講座を開催したが、当初予定30名×2会場=60名の養成とはならなかったが、基準値よりわずかであるが前進した。次年度以降は、広報活動を強化、プログラムの見直し等を図ることで養成者を増やしていきたい。
14		介護予防に資する通いの場への65歳以上参加者数及び割合	40,327人 (6.9%)	47,460人 8.0%		評価不能	体操以外に地域の特色を活かした趣味活動など、通いの場の多様性が進展したことで、65歳以上参加者数及び割合も増加した。 今後は新規参加者や担い手の確保に向けて、通いの場に対する無関心層等への働きかけについて、市町村と専門職団体との連携を進めていきたい。
15		介護予防に資する通いの場の設置数 (週1回以上開催)	917か所	1,200か所		評価不能	通いの場の多様性が進展したことで、地域の特色を活かした趣味活動等を行う通いの場が増加した。 通いの場の機能強化や継続支援のため、通いの場へ専門職が訪問し、認知症予防や栄養相談、口腔ケア等を行う市町村も増加した。 今後は高齢者の多様な生活様式に応じた通いの場の設置に向けて、住民への普及啓発等を市町村と専門職団体と連携して進めていきたい。
16		介護予防・フレイル予防の必要性を理解し地域で取り組むボランティア(介護予防サポーター(初級)相当の養成実績)(累計)	11,545人	12,600人	11,952人	前進	介護予防・フレイル予防の必要性に対する住民の認識が広がったことで、介護予防・フレイル予防について関心を持つ住民が増加し、介護予防サポーター(初級)の養成実績も増加傾向にある。 今後はサポーターの新規養成及び養成後のフォローアップについて、市町村及び専門職団体、他事業との連携を進めていきたい。

No.	基本施策	項目	実績値 (ベースライン値) 【令和5年度末】	目標値 (令和8年度 末)	令和6年度数値	現状評価	目標値達成に向けた現状認識・今後の取組
17		保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金の県得点率（都道府県分）	55.9% (全国平均64.5%) 【※令和6年度】	全国平均を上回る 得点率	57.0% (全国平均 66.1%) 【※令和7年度】	後退	令和7年度の県得点率と全国平均の差及び令和6年度の県得点率と全国平均の差を比較し、令和6年度よりも差が広がったため「後退」とした。 今後は、特に得点率が低い項目を中心に、得点向上につながるような取組の実施を検討するとともに、群馬県として得点が低いアウトカム指標(短・中長期的な平均要介護認定度の変化率の状況等)の向上を目指し、市町村を支援していく。
18		保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金の県内平均得点率（市町村分）	46.4% (全国平均52.8%) 【※令和6年度】	全国平均を上回る 得点率	50.7% (全国平均 54.4%) 【※令和7年度】	後退	令和6年度の得点率が令和5年度の得点率よりも下落したため「後退」とした。 今後は、特に得点率が低い項目を中心に、市町村の得点が向上するような取組の支援を検討していきたい。
19	3 共生社会の実現に向けた認知症施策の推進	チームオレンジ等設置市町村	17市町村	35市町村	25市町村 (暫定値)	前進	チームオレンジコーディネーター研修の開催やアドバイザーの派遣により、市町村の実情に応じた支援を実施した。今後も市町村の取り組みを支援していきたい。
20		本人ミーティング開催か所数	9市町村	26市町村	7市町村 (暫定値)	後退	実施市町村数が減少したため、後退とした。今後県内各地で実施できるように、認知症疾患医療センターに委託するなどして開催を支援していく。
21		認知症サポート医	226人	265人	238人	前進	医師会と連携し、候補者を選定し養成を継続できている。今後も養成を継続していく。
22		かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者	978人	1,200人	1,053人	前進	第8期計画実施中は新型コロナウイルス感染症の影響により、養成者数に伸び悩みがみられたが、受講者数は回復した。今後も関係機関と連携し研修を実施していく。
23		歯科医師認知症対応力向上研修修了者	379人	480人	416人	前進	第8期計画実施中は新型コロナウイルス感染症の影響により、養成者数に伸び悩みがみられたが、受講者数は回復した。今後も関係機関と連携し研修を実施していく。
24		薬剤師認知症対応力向上研修修了者	572人	720人	647人	前進	第8期計画実施中は新型コロナウイルス感染症の影響により、養成者数に伸び悩みがみられたが、受講者数は回復した。今後も関係機関と連携し研修を実施していく。
25		看護職員認知症対応力向上研修修了者	1042人	1,250人	1,155人	前進	第8期計画実施中は新型コロナウイルス感染症の影響により、養成者数に伸び悩みがみられたが、受講者数は回復した。今後も関係機関と連携し研修を実施していく。
26		一般病院勤務医療従事者認知症対応力向上研修修了者	723人	1,280人	764人	前進	第8期計画実施中は新型コロナウイルス感染症の影響により、養成者数に伸び悩みがみられたが、受講者数は回復した。今後も関係機関と連携し研修を実施していく。
27		認知症介護指導者養成研修受講者(延べ数)	54人 【※令和4年度末】	60人	58人	前進	令和6年度の修了者数は4人のため、令和7年度も同数以上の修了者数を確保できれば目標を達成することができる見込。

No.	基本施策	項目	実績値 (ベースライン値) 【令和5年度末】	目標値 (令和8年度 末)	令和6年度数値	現状評価	目標値達成に向けた現状認識・今後の取組
28		認知症介護実践リーダー研修受講者(延べ数)	729人 【※令和4年度末】	887人	814人	前進	令和7年度は研修の総定員数を、昨年度よりも72人増やしているため、募集がうまくいけば目標を達成することできる見込。
29		認知症介護実践者研修受講者(延べ数)	6,631人 【※令和4年度末】	7,597人	7121人	前進	令和5年度よりも修了者が増加したため前進とした。引き続き介護事業者に研修の周知を図る。
30	4多様な福祉・介護サービス基盤の整備	介護給付適正化事業全事業(主要3事業・重点1事業)の実施率	48.6%(17/35) 【※令和4年度】	100%(35/35)	60%(21/35)	前進	実施市町村は増加しているため前進とした。引き続き市町村支援に取り組み実施率向上を図る。
31	5災害及び感染症対策に係る体制整備	業務継続計画の策定が義務化されている入所施設(県所管)で見直しを行った割合	-	100%	60%	前進	研修会の周知等を行い、業務継続計画の策定及び見直しの支援を継続する。
32	6地域包括ケアシステムを支える人材の確保及び介護現場の生産性の向上の推進	外国人介護福祉士候補者の海外からのマッチング人数(延べ数)	-	72人	16人	前進	令和6年度までベトナムの現地日本語学校学生とのマッチングを行ってきた。令和7年度からはミャンマーの現地日本語学校学生もマッチング対象に増やして、現地外国人材の確保を図る。
33		入門的研修開催数	12回 【※令和4年度】	22回	18回	前進	各市町村に積極的に制度の周知をし、事業の実施を促進する。
34		介護職員初任者研修受講料補助人数(延べ数)	37人 【※令和4年度】	250人	105人	前進	各市町村に積極的に制度の周知をし、事業の実施を促進する。
35		ぐんま介護人材育成宣言事業者の認定数(延べ数)	169件 【※令和4年度末】	260件	197件	前進	人材育成や処遇・職場環境の改善に向けた取組に関心のある事業者に対し事業参加を呼びかけると共に、ハローワークと連携し求職者への制度周知を図る。
36		ぐんま介護人材育成認証事業者の認証数(延べ数)	14件 【※令和4年度末】	33件	16件	前進	人材育成や処遇・職場環境の改善に向けた取組に関心のある事業者に対し事業参加を呼びかけると共に、ハローワークと連携し求職者への制度周知を図る。
37		ハラスメントに関するセミナー参加者数(延べ数)	-	480人	282人	前進	職場のハラスメント及びカスタマーハラスメント研修について、引き続き継続して実施する。
38		ぐんま認定介護福祉士認定者数(延べ数)	833人 【※令和4年度末】	935人	886人	前進	ぐんま認定介護福祉士の活躍の場を設け、広く周知することで、研修の修了者を増やす。
39		介護ロボット導入支援事業所数(延べ数)	463事業所 【※令和4年度】	839事業所	857事業所	前進	介護現場の生産性を向上させるため、引き続き継続して実施する。

No.	基本施策	項目	実績値 (ベースライン値) 【令和5年度末】	目標値 (令和8年度 末)	令和6年度数値	現状評価	目標値達成に向けた現状認識・今後の取組
40		I C T機器導入支援事業所 数(延べ数)	74事業所 【※令和4年度】	457事業所	514事業所	前進	介護現場の生産性を向上させるため、引き続き継続して実施する。

評価区分	説明	項目数
達成	現時点で目標値を達成	3
前進	実績値(ベースライン値もしくは前縁実績) と比較して前進	29
現状維持	実績値(ベースライン値もしくは前年実績) と比較して同等程度	1
後退	実績値(ベースライン値もしくは前年実績) と比較して後退	5
評価不能	何らかの理由により評価不能	2
計		40